

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 H29.12.14 根本七太

1. 日時 平成 29 年 11 月 27 日（月）午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
2. 場所 白沢公民館 第 2 研修室
3. 出席議員 三瓶幹夫、根本七太、渡辺善元、渡辺由紀雄（4 名）
4. 出席市民 13 名
5. 会議経過

【午後 6 時 30 分開会】

- ◇ 渡辺（善）議員 開会宣言
- ◇ 渡辺（善）議員 挨拶

（出席議員自己紹介）

【報告】

- ◇ 根本議員
議会構成、定例会・臨時会の審議の概要、会派制の導入と政務活動費について報告を行う。

《報告に対する質疑 要旨》

問（市民）

政務活動費の個人向けで金額に違いがある。何故か。

答 根本議員

年度内活動費で申請が遅れると減額する。

問（市民）

議会傍聴について尋ねる。傍聴者の状況と市民向け放送の反応は。

答 根本議員

傍聴者は、一般質問時登壇する議員の支持者が見られるが、残念ながら現在は少ない。また、市民向け放送はFMモットコムで行っているが、聞いている方がどの程度いるのかは把握できない。

答 渡辺（善）議員

白岩老人会や岩根小学校の生徒も団体に傍聴する時がある。年間約 250 人の傍聴者がいる。

【意見交換】

《意見交換 要旨》

問（市民）

五百川駅開発を耳にする時、ハード面からだけでなく、ソフト面から事業を考えて、50年前映画プロダクション日活が旧本宮町、五百川駅を舞台に撮影した、浜田光男と吉永小百合主演のロケがあった。この様な歴史をたどりながら、開発する駅舎に例えば「出逢いと旅立ちの駅」等の名称を付けて、誘客に生かすことも必要と考えるが。

答 渡辺（由）議員

平成32年に本宮駅が新装オープンする。その際に宣伝することも出来る。

問（市民）

プリンス・ウィリアムズ・パークの英国庭園がオープンしたが、旧白沢村の時に記念樹の杜として植栽した樹木があった。記念樹を植えた方々には、どの様な説明をして理解を得たのかお尋ねしたい。

答 渡辺（由）議員

この件については、議会でも取り上げられた。執行部は、該当する方々に丁寧に説明し、理解を頂いていると言っている。

答 根本議員

この件については、私が執行部に質した経緯が有る。現在は、年間10万人を迎える程の賑わいを頂いているので、記念樹を植栽した方々には申し訳ないが良かったと考えている。

しかし、執行部からは、記念樹は傷めないように移動させて頂いた、との回答を得ているので安心している。

問（市民）

秋祭りが盛会に行われた。その際に気付いた点で、白沢野外ステージにトイレが無く、公民館のトイレ使用で来場者から苦情があった。また、ステージを使用するには、衣装替えする場所が必要との声もあった。議会のみなさんに要望しておく。

答 渡辺（由）議員

私達も同様の考えだが、施設の利用頻度が低い。年2～3回では、予算要望するのにも気が引ける。是非各種団体の人に会場を利用するよう進言して欲しい。

問（市民）

本宮市には、多くの人が集う屋内施設が無い。収容人数はそれぞれ、オーブが200人、サンライズもとみやは550人、白沢カルチャーセンターは650人である。せめて1,000人、出来れば1,500人を収容可能な施設

が必要と思うが。

答 渡辺（由）議員

その通りだが財政面でも考慮すべきであり、提案として受け止めたい。

問（市民）

道路に関して問う。

旧白沢村は、坂が多い。どうにかして平にならないか。トンネルにすれば冬場の凍結防止になるのでは。

答 渡辺（由）議員

県道は無理かと思う。市道は、光が丘から高松山観音寺前を通り本宮インターに行く通りは、冬場の凍結難所であるが、伐木をして凍結防止に努めている。

問（市民）

和田小学校の児童数減少で、将来白沢地区の小学校統合も考えられる。統合する時は、白沢中学校に統合した時のように、計画性のない場所にはわかに作るのではなく、早めに場所を確保しておくべきと考えるが。

答 渡辺（由）議員

和田小学校の児童数減少は、地元議員からも度々出されている。市としても復興住宅を和田地区に建設したり、工場誘致も考えているが、我が国の社会的、経済的情勢から地方への企業進出も中々条件が整わない状況にある。10年後を考える時、小学校の位置付けも今後検討しなければならない課題かも知れない。

答 根本議員

私も議員活動をして10年になるが、当初から和田小学校の児童数減少にはドリームライン沿線の開発が必要で、工場誘致や住宅団地の造成など提案してきた。ドリームラインは工事がスタートして25年になるが未だに沿線周辺に変化がない。重要な課題である。和田小学校の危惧される統合問題だが、教育長と話しする機会が有って尋ねたが、今のところ心配はしていないとの見解であった。また、学校長と話した際にも、「児童が少なくとも、子ども達は元気にしっかり学んでいる。教員も大きな学校に劣らないように工夫して取り組んでいる。県内の小学校の児童合奏部門で金賞を受賞し、和田小学校卒業生からはやり投げで全国大会に出場し二位に、更にソフトボール少年団が県北地区新人戦で優勝するなど活躍している。」との話を頂き、今後はハード面の対策と併せソフト面での対策を強化していくことの重要性を感じている。

問（市民）

イクタンバスの休日運行は出来ないのか。

問（市民）

本宮駅から長屋へバスが運行されているが、利便性から白岩関根を經由するコース設定は出来ないのか。

答 渡辺（由）議員

交通弱者への支援の観点から、内容は市に伝える。

問（市民）

安達疏水土地改良区は水利費の高騰、一部地域の水利費未納問題等解決しなければならぬ課題も多い。特に安達疏水は揚水式で他のような落水式と異なり設備と維持費が掛かり、行政支援は必要と思う。議員としての考えを聞きたい。

答 渡辺（由）議員

合併当初から話題になっている。揚水式はお金が掛かるのも理解している。今後各議員の理解を得るよう努力するが、組合も抱えている問題にしっかり取り組む自助努力も必要と認識している。

問（市民）

友好関係を結ぶ上尾市で二元代表制のトップである市長と議長の不祥事が発生したが、今後青少年の交流など考えた場合において問題は生じないか。本市の歌を作成した時も、作成して頂いた方に問題が起きて、完成した歌を取りやめた経緯を思い出す。また、本宮市との議員交換会も中止になったと聞いている。議会としてどの様に考えているのか。

答 渡辺（由）議員

頂いた経緯はその通りである。問題を起こしたのは個人であり、震災時に支援して頂いたのは上尾市からであるので、恩は忘れてならないと思う。こうした考えから上尾市の新執行部、新議会と上尾市が落ち着いたら従来通り交流を深めていきたいと考えている。

◇ 渡辺（善）議員 閉会挨拶

【午後 8 時 30 分閉会】